

第86期 事業のご報告

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

株主メモ

- | | | | |
|--------------------|---|-----------|--|
| ■ 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで | ■ 同取次所 | 住友信託銀行株式会社 全国各支店 |
| ■ 定時株主総会 | 毎年6月開催 | ■ 単元株式数 | 1,000株 |
| ■ 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 | ■ 公告方法 | 電子公告
当社のホームページ
〈 http://www.tatsuta.co.jp 〉に掲載する。 |
| | 期末配当金 毎年3月31日 | | ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 |
| | 中間配当金 毎年9月30日 | | |
| | そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 | ■ 上場証券取引所 | 東京、大阪 |
| ■ 株主名簿管理人 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 | | |
| ■ 同事務取扱場所 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部 | | |
| (郵便物送付先) | 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部 | | |
| (電話照会先) | ☎0120-176-417 | | |
| (インターネットホームページURL) | http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html | | |

株主の皆様へ



代表取締役会長

藤江 修也



代表取締役社長

木村 政信

【営業の概況】

当期における我が国経済は、一部の産業で若干の回復傾向が見られたものの、世界的な景気停滞の状況下において、消費の低迷、雇用情勢の悪化、低調な設備投資等、全体としては極めて厳しい状況で推移いたしました。

この間における我が国の銅電線需要量は、電力向けは堅調に推移し、自動車およびエレクトロニクス向けについては回復傾向が見られたものの、建設・電販向けをはじめとする他部門の需要が低迷したため、前年度に比べ減少し、極めて低い水準となりました。光ファイバケーブルの需要量も国内需要の低迷により、前年度に比べ減少しております。

このようなより厳しさを増す経営環境下において、当社グループは、積極的かつ効率的な生産・販売活動を推進し、一方で事業運営全般にわたっての効率化および構造改善に引き続き取り組むなど、業績の維持向上に鋭意努めてまいりました。

その結果、当期の連結売上高は前期比20.3%減の354億4千2百万円、連結経常利益は前期比81.8%増の8億7千8百万円となり、連結当期純利益は前期比5.1%増の4億7百万円を確保いたしました。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成22年6月

電線・ケーブル事業

光ファイバケーブルは、国内需要の低迷により売上高が減少いたしました。銅電線は、電力向け需要は比較的堅調に推移しましたが、一方で建設・電販向けをはじめとする他分野では需要が大幅に減少し、当期中における銅価が比較的高値で推移したものの、売上高は減少いたしました。

その結果、電線・ケーブル事業の売上高は、前期比25.6%減の278億6百万円となりました。

電子材料・光部品他事業

当社光部品事業については、売上高は若干増加し、株式会社タツタ環境分析センターでは、需要低迷と競争激化に伴う受注の減少等があったものの、同業他社より一部事業を譲り受けたため、売上高が増加いたしました。加えて、タツタシステム・エレクトロニクス株式会社の電子材料の販売が好調に推移した結果、電子材料・光部品他事業の売上高は、前期比6.3%増の76億8千2百万円となりました。

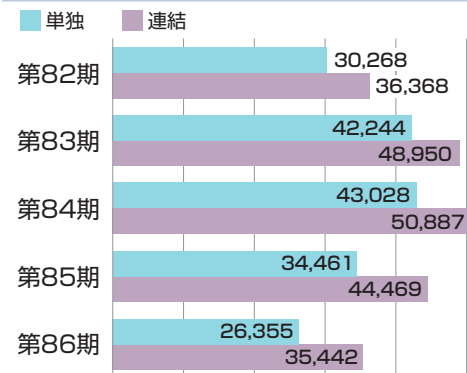
今後、中国をはじめアジア向け輸出については堅調を維持すると見られる一方、国内需要は低調に推移し、引き続き厳しい状況が続くものと見込まれます。電線業界においても、光ファイバの輸出については好調に推移すると予想されますが、銅電線とともに国内の需要の回復は依然として厳しいものと見込んでおります。

当社グループとして、電線・ケーブル事業においては、一層の事業基盤の強化を図って、品質の向上および短期納期化を目指し、グループの最適生産体制の確立を進めてまいります。販売面では、新規原子力発電所向けの受注に注力するとともに、グループ固有の技術を生かした、光ドロップケーブルやFAロボット向け特殊ケーブル等の新規商品の開発を進めていくこととしております。

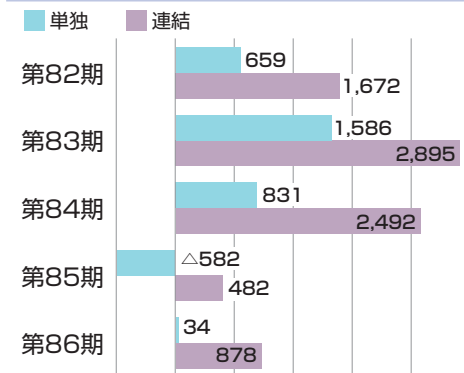
また、電子材料・光部品他事業においては、機能性フィルムの高需要に的確かつタイムリーに対応していくとともに、新規商品の開発を推進してまいります。なお、これまで当社グループの電子材料部門は、当社の100%の連結子会社であるタツタシステム・エレクトロニクス株式会社が担っておりましたが、グループにおける電子材料等の分野のさらなる事業展開とその一層の効率化を図る観点から、平成22年4月1日付をもって同社を当社に合併いたしました。また、光部品事業については、フォトエレクトロニクス分野における開発製品の早期事業化を進めるとともに、当社独自の技術を推し進めて、新規製品の開発および品揃えの充実を図ってまいります。

株主各位の一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

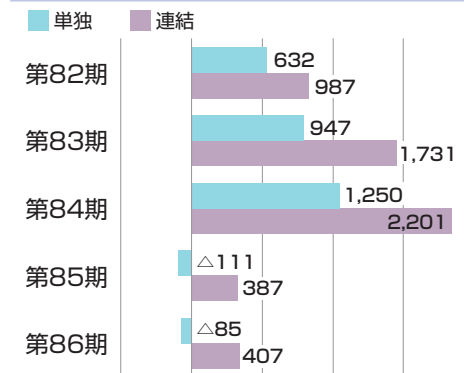
売上高 (単位/百万円)



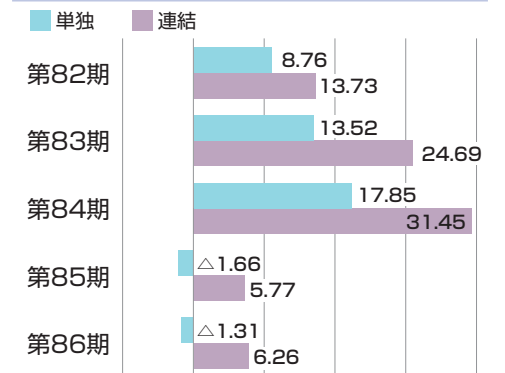
経常利益 (単位/百万円)



当期純利益 (単位/百万円)



1株当たり当期純利益 (単位/円)



財務諸表

連結財務諸表

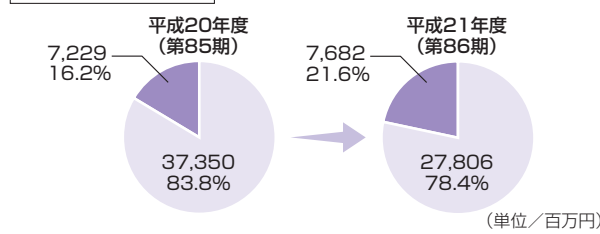
■連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当期末	
	(平成22年3月31日現在)	(平成21年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	22,500	22,616
固定資産	9,120	10,193
有形固定資産	6,981	8,221
無形固定資産	167	229
投資その他の資産	1,972	1,743
資産合計	31,621	32,810
負債の部		
流動負債	4,058	4,726
固定負債	1,921	1,873
負債合計	5,980	6,600
純資産の部		
株主資本	25,503	25,851
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,536	4,536
利益剰余金	15,857	15,906
自己株式	△ 1,567	△ 1,268
評価・換算差額等	137	358
その他有価証券評価差額金	137	358
純資産合計	25,640	26,209
負債・純資産合計	31,621	32,810

■連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	当 期	
	(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)
売上高	35,442	44,469
売上原価	29,982	39,620
売上総利益	5,459	4,849
販売費及び一般管理費	4,646	4,457
営業利益	812	391
営業外収益	143	153
営業外費用	78	62
経常利益	878	482
特別利益	855	154
特別損失	865	103
税金等調整前当期純利益	868	533
法人税、住民税及び事業税	315	321
法人税等調整額	146	△ 175
当期純利益	407	387

■事業別売上高構成 (単位：百万円)



■連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	当 期	
	(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	993	8,903
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 58	△ 7,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,089	△ 1,669
現金及び現金同等物の増減額	△ 154	△ 325
現金及び現金同等物の期首残高	510	836
現金及び現金同等物の期末残高	356	510

■連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	株 主 資 本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成21年3月31日残高	6,676	4,536	15,906	△ 1,268	25,851	358	358	26,209
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 456		△ 456			△ 456
当期純利益			407		407			407
自己株式の取得				△ 299	△ 299			△ 299
自己株式の処分		△ 0		0	0			0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)						△ 221	△ 221	△ 221
連結会計年度中の変動額合計		△ 0	△ 49	△ 298	△ 347	△ 221	△ 221	△ 569
平成22年3月31日残高	6,676	4,536	15,857	△ 1,567	25,503	137	137	25,640

単体財務諸表

■単体貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当期末	
	(平成22年3月31日現在)	(平成21年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	19,136	19,618
固定資産	7,649	8,243
有形固定資産	4,799	5,566
無形固定資産	119	171
投資その他の資産	2,730	2,505
資産合計	26,786	27,861
負債の部		
流動負債	4,334	4,285
固定負債	1,525	1,572
負債合計	5,859	5,858
純資産の部		
株主資本	20,802	21,643
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,726	4,726
利益剰余金	10,967	11,509
自己株式	△ 1,567	△ 1,268
評価・換算差額等	123	359
その他有価証券評価差額金	123	359
純資産合計	20,926	22,002
負債・純資産合計	26,786	27,861

■単体損益計算書 (単位：百万円)

科目	当 期	
	(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)
売上高	26,355	34,461
売上原価	24,091	33,031
売上総利益	2,263	1,430
販売費及び一般管理費	2,588	2,446
営業損失	324	1,015
営業外収益	521	515
営業外費用	163	83
経常利益又は経常損失 (△)	34	△ 582
特別利益	699	145
特別損失	850	78
税引前当期純損失	116	515
法人税、住民税及び事業税	△ 182	△ 280
法人税等調整額	151	△ 123
当期純損失	85	111

会社情報

会社概要 (平成22年3月31日現在)

- 社名 タツタ電線株式会社
- 本店所在地 大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号
- 設立年月日 昭和20年9月28日
- 資本金 6,676,227,664円
- 従業員 連結 593名
単体 345名
- 事業内容 電線・ケーブル、電線・ケーブル付属品、電子材料（導電性ペースト、ボンディングワイヤ、防錆材）、機器システム製品（防災関連、病院・薬局合理化関連）、光関連製品（コネクタ端末加工、カプラ）の製造販売及び環境分析事業等その他のサービス事業



本社・大阪工場



京都工場

役員 (平成22年6月25日現在)

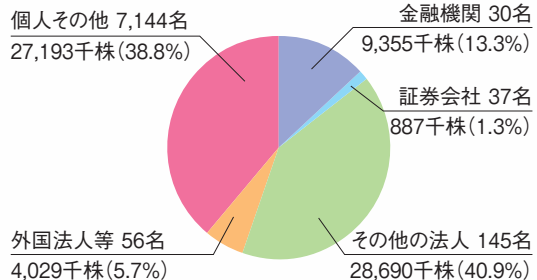
- 代表取締役会長 藤江 修也
- 代表取締役社長 木村 政信
- 専務取締役 江角 健一
- 専務取締役 平井 洋行
- 専務取締役 橋本 和博
- 常務取締役 松本 一郎
- 取締役 北島 秀樹
- 取締役 檀上 芳郎
- 取締役 三村 弘治
- 取締役 門脇 信好
- 取締役 中野 紳一郎
- 取締役 高橋 靖彦
- 常勤監査役 安藤 明彦
- 監査役 住吉 彰
- 監査役 村山 誠一

株式の状況 (平成22年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 156,693,000株
- 発行済株式の総数 70,156,394株
- 株主数 7,412名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
新日鉱ホールディングス株式会社	22,739	32.41
タツタ電線株式会社(自己株式)	6,308	8.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,303	3.28
住友金属鉱山株式会社	1,921	2.74
日本興亜損害保険株式会社	1,572	2.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,434	2.04
シービーエヌワイエフインターナショナルスモールキャップパリュエポトフォリオ	1,146	1.63
個人株主A	1,015	1.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,010	1.44
カセイバンク オーディナリアアカウント	811	1.16

所有者別株式分布状況



ホームページ



アドレス <http://www.tatsuta.co.jp>

TOPICS トピックス

「タツタ システム・エレクトロニクス(株)を合併」



システム・エレクトロニクス事業本部京都工場

当社グループの電子材料分野のさらなる事業展開とその一層の効率化を図る観点から、平成22年4月1日付をもって、タツタ システム・エレクトロニクス(株)を吸収合併いたしました。これに伴い、新たにシステム・エレクトロニクス事業本部が発足し、新体制のもと、これまで同社取り扱いの電子材料関連製品の新たな展開に注力することとしております。



FPC用電磁波シールドフィルム



タッチパネル用導電性ボンディングペースト



金・銅ボンディングワイヤ



入退室管理システム

「RGBコンバイナ」—フォトエレクトロニクス分野開発製品—



可視光のRGB(赤・緑・青)の3波を合波して1本のファイバより出力するコンバイナ。ディスプレイの小型化や高性能化の要望にお応えいたします。

RGBコンバイナ